

平成25年度
「地域公共政策士」育成のための資格教育プログラム
に係る自己点検評価書 基礎データ
(第2種プログラム用)

機関名 京都産業大学法学研究科

プログラム名 法政策・国際公共プログラム

平成25年7月

I 教育内容・方法等

1 プログラムの概要 (表1)

プログラム名	学習アウトカム (プログラムを通して達成される学習アウトカムを別表より選択した上で、各プログラムの目的や教育目標に照らし合わせ記述ください)	
	到達目標	
法政策・国際公共プログラム	到達目標	7-0-1、2「地域社会に関する様々な理論・政策・地域活動を理解し、再構成することができる」「地域社会の改革や発展のための計画やプログラムを責任を持って策定し実行することができる」
	知識	7-1-1、3「グローバル化する世界における自治体の国際戦略に関する理解」「様々な理論・政策・情報を組み合わせた客観的分析と評価による既存の概念の修正に関する理解」
	技能	7-2-1、4「地域における複雑な課題群の一般化とそれに対する普遍的な解決策の提示」「対象となる政策・事業に関する中長期的な社会的意義の評価」
	職務遂行能力	7-3-1、3「地域社会における政策提言及びプログラム運用への企画・調整・主導」「課題解決のために必要な社会的資源を必要に応じて再構成」

構成科目名	担当者名	開講期間 (前期、後期、通年のいずれかを ご記入ください)	ポイント数	プログラム内における構成科目の位置づけ
法政策臨床研究	足立幸男	前期	2	公共政策学の基礎理論を学び、分析視点と思考法を習得する。
政治機構論特殊演習	中谷真憲	後期	2	政治体制や政治文化と公共政策との関連について分析する能力を身につける。
公共政策論特論A	焦従勉	前期	2	公共政策の立案の理論と技法を、事例研究と討論を通じて身につける。
公共政策論特論B	焦従勉	後期	2	政策評価についての理論と技法を、事例研究と討論を通じて身につける。
公共政策論特殊演習	足立幸男	前期	2	政策研究と政策分析が公共政策の質的向上に寄与する方法を理解し、修得する。
地域公共論特論A	足立幸男	前期	2	地域社会が直面する諸問題の解決に資する知識・スキル・資質を修得する。
地域公共論特論B	中谷真憲	後期	2	外部講師を招きつつ、新しい公共時代の各アクターの役割を考察し理解する。
公共政策ワークショップ	中谷真憲	前期	2	政策実践の事例分析を通じて、フィールド調査に必要な方法と倫理を理解する。
行政学特殊演習	芦立秀朗	後期	2	行政改革の事例を通じて、理論と現実を関連づけて考える力を身につける。
西洋政治史特殊演習	川合全弘	後期	2	西洋近代における指導者論を題材に、口頭と文書による報告の技能を修得する。
東洋政治史特殊演習	滝田豪	後期	2	中国政治史の研究文献を講読し、中国政治史の理解を深める。
政治思想史特殊演習	植村和秀	後期	2	政治思想を企画・戦略として把握し、政治思想を活用する方法を考察・習得する。